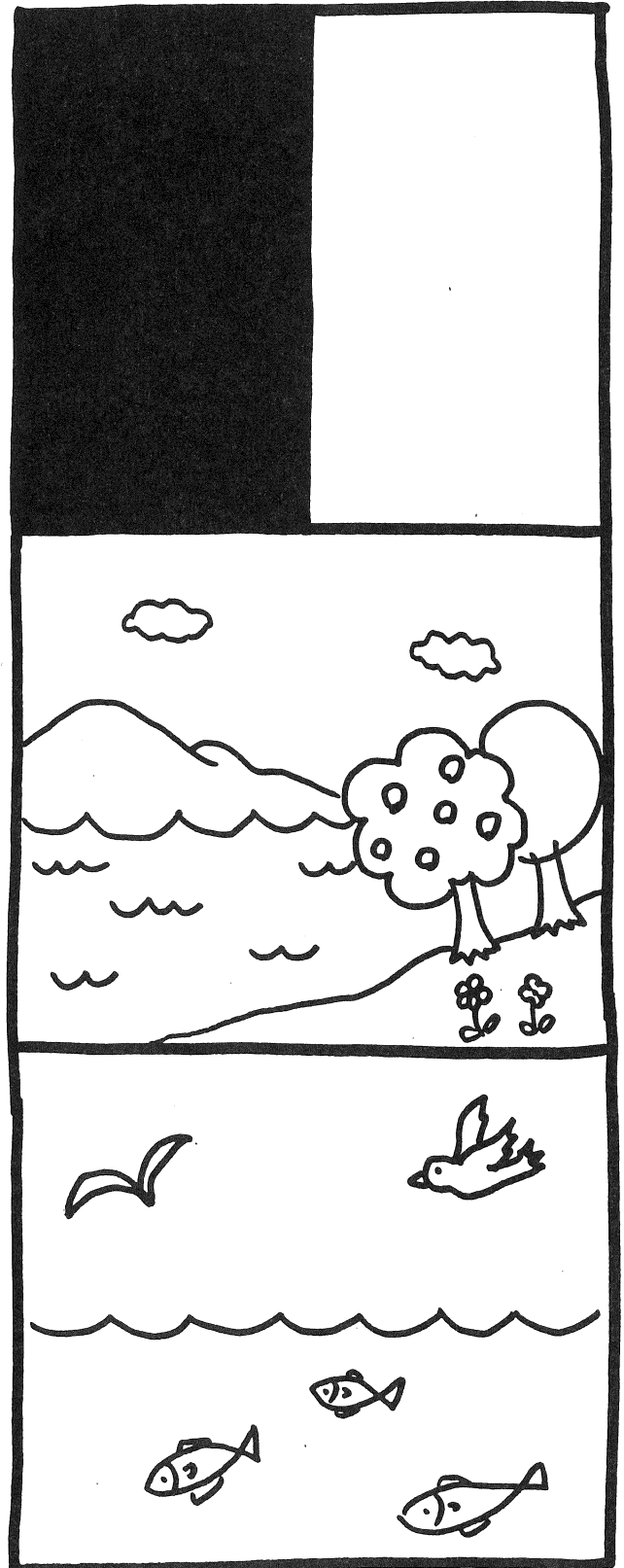
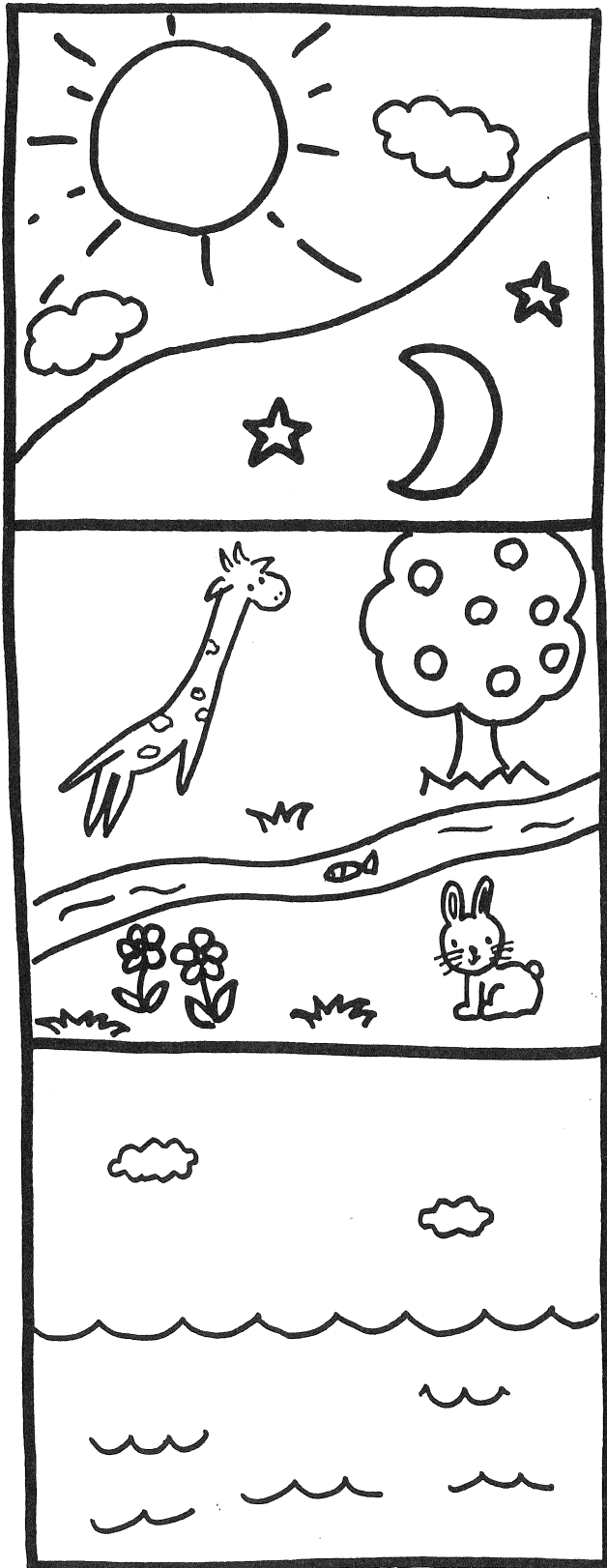


はじめにかみはてんとちとをそうぞう
された。 そうせいき 1・1

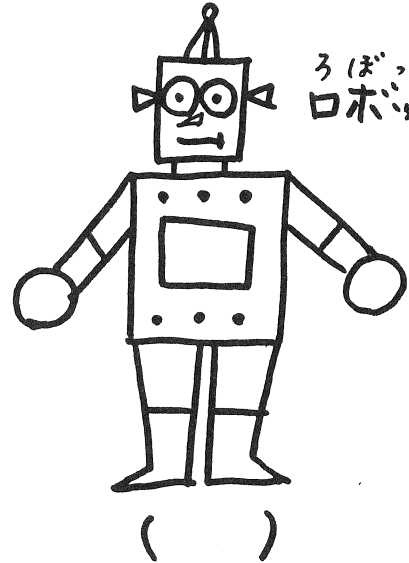
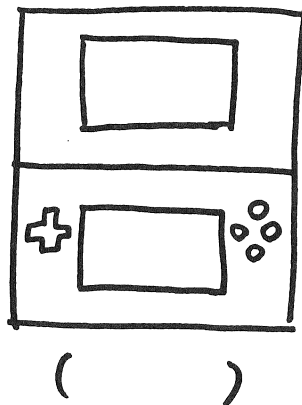
ふといせんできりとして、かみさまがつくられたじゅんばんにならべましょ
う。いろをぬってもよいですよ。



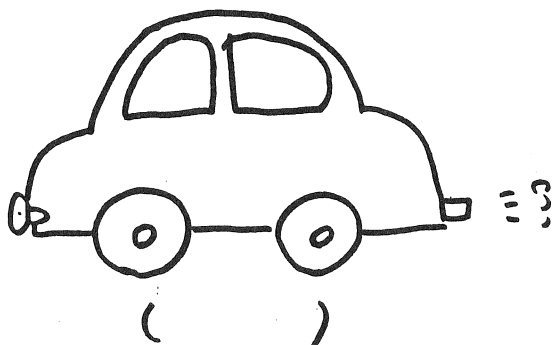
はじめにかみはてんとちとをそうぞう
された。　　そうせいき 1・1

かみさまがつくられたものはなんですか？（ ）に○をしましょう。

わたしたち

ろぼっ
ロボットけーむ
ゲーム

くるま



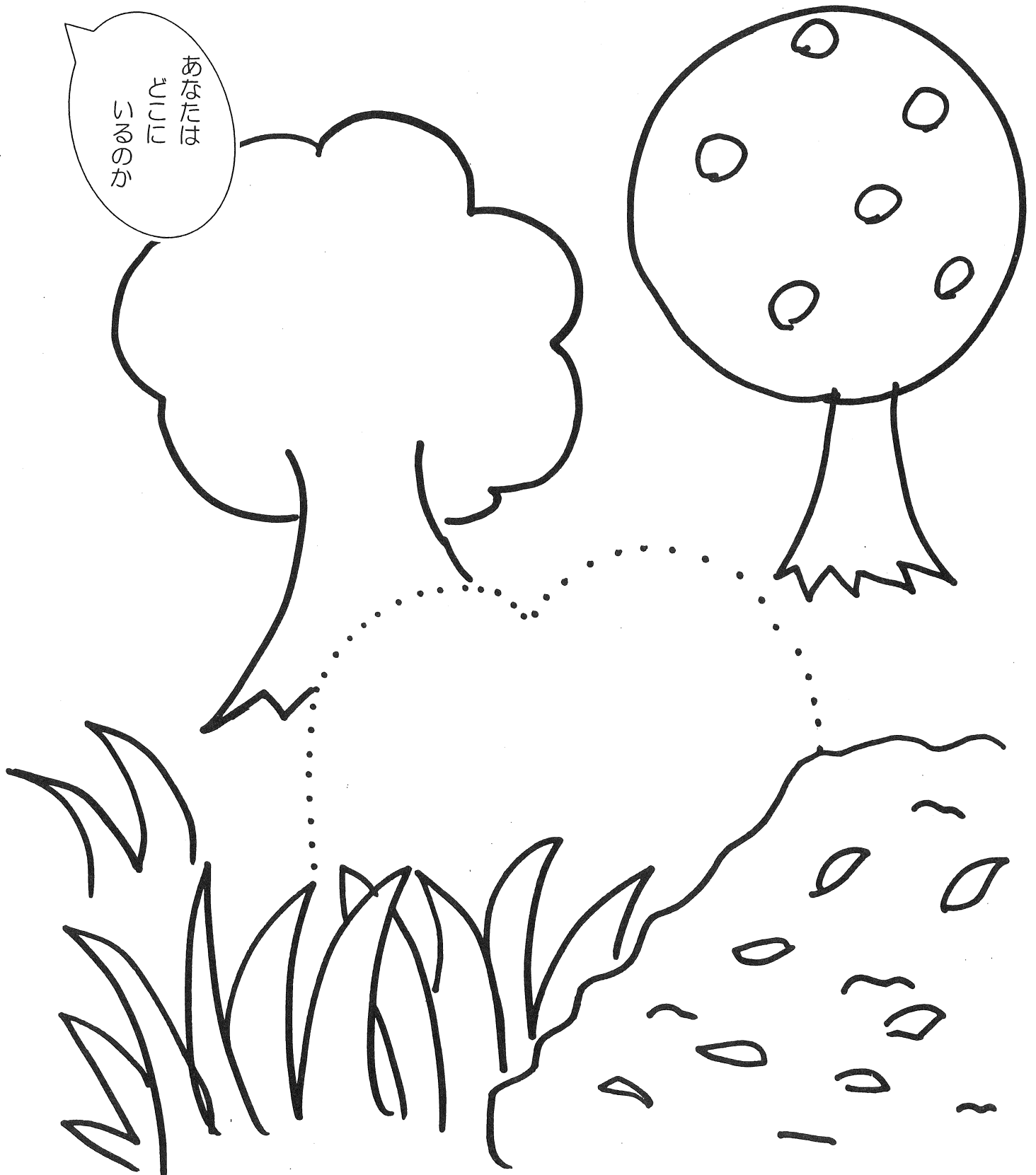
おとうさん

おかあさん



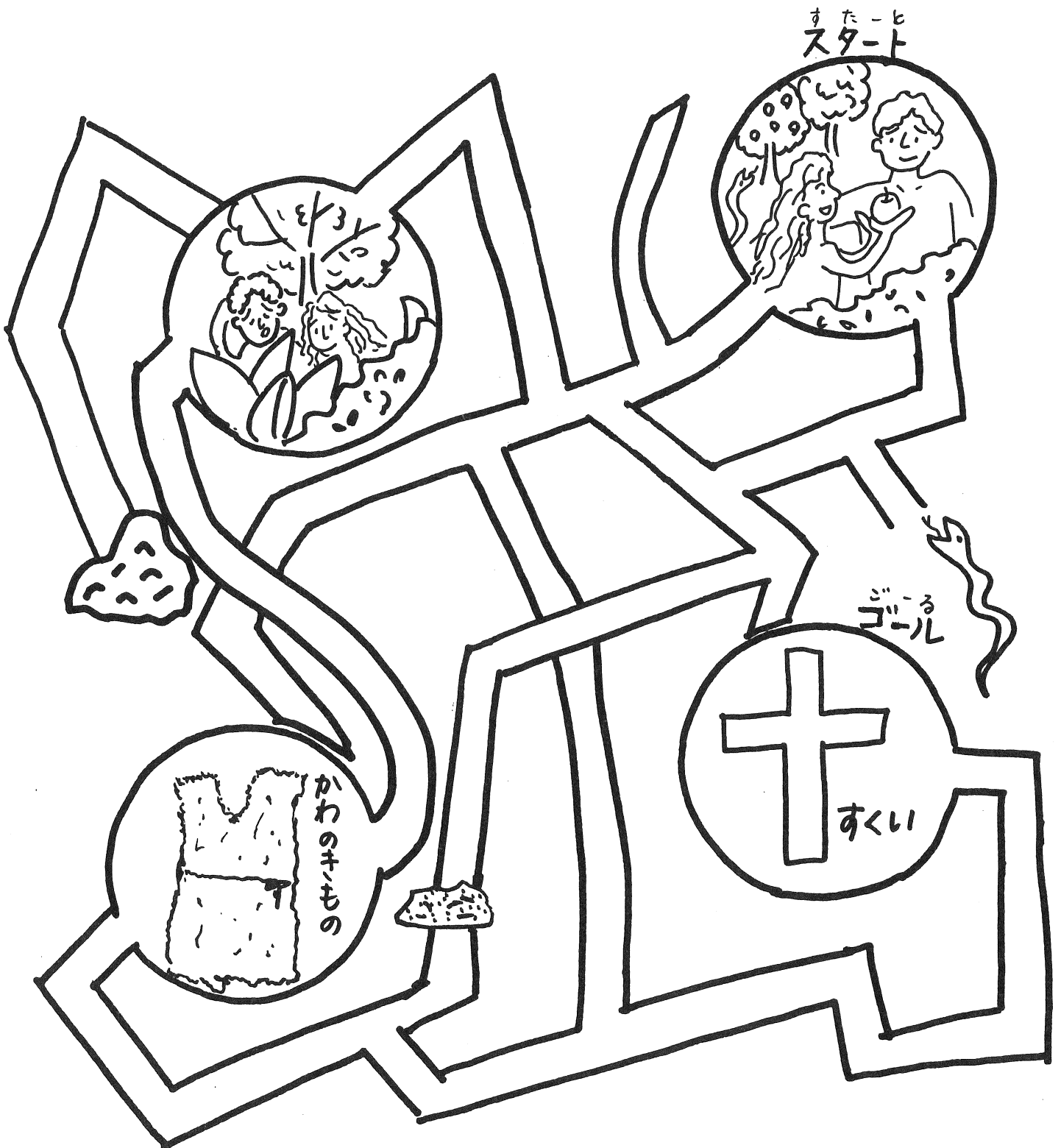
はじめにかみはてんとちとをそうぞう
された。 そうせいき1・1

かみさまとのやくそくをまもれなかった^{あだむ}アダムさんと^{えば}エバさんはどうしまし
たか。えをかきましょう。



はじめにかみはてんとちとをそうぞう
された。 そうせいき 1・1

きょうのおはなしをおもいだしながら ^{すたーと}スタートから ^{ごーる}ゴール
までのみちをたどりましょう。



はじめにかみはてんとちとをそうぞう
された。 そうせいき1・1

かみさまが ともにみられるときはどんなときですか？
()に○をしましょう。 えのほかににも なにかあったら せんせい
に おしえてあげましょう。

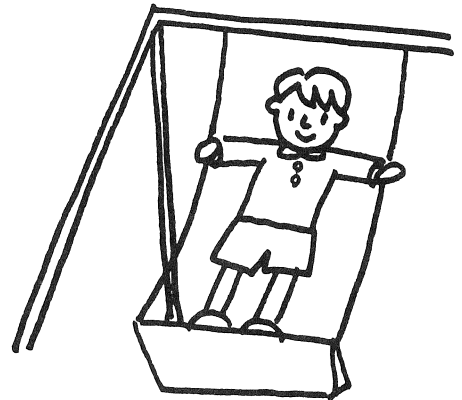
ねているとき
()



しかられているとき
()



ごはんをたべているとき
()



あそんでいるとき
()



びくびくしているとき



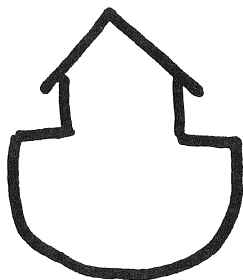
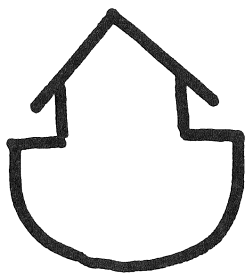
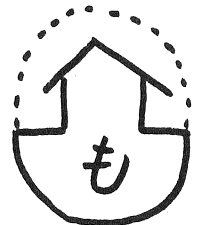
けんかをしているとき
()

のあ
ノアはかみとともにあゆんだ。

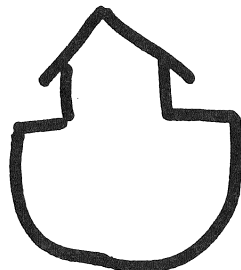
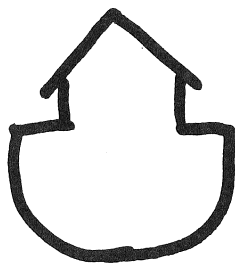
そうせいき6・9



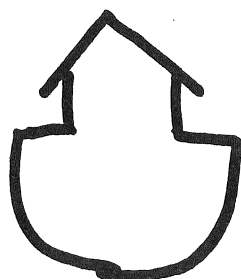
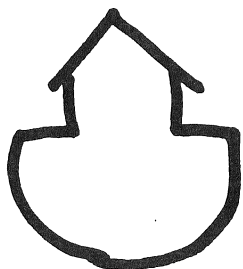
みぎのふねを
きりとり、したの
ふねのうえに
おき、きょうのあん
しょうせいくをかん
せいさせよう。
できるかな？



は



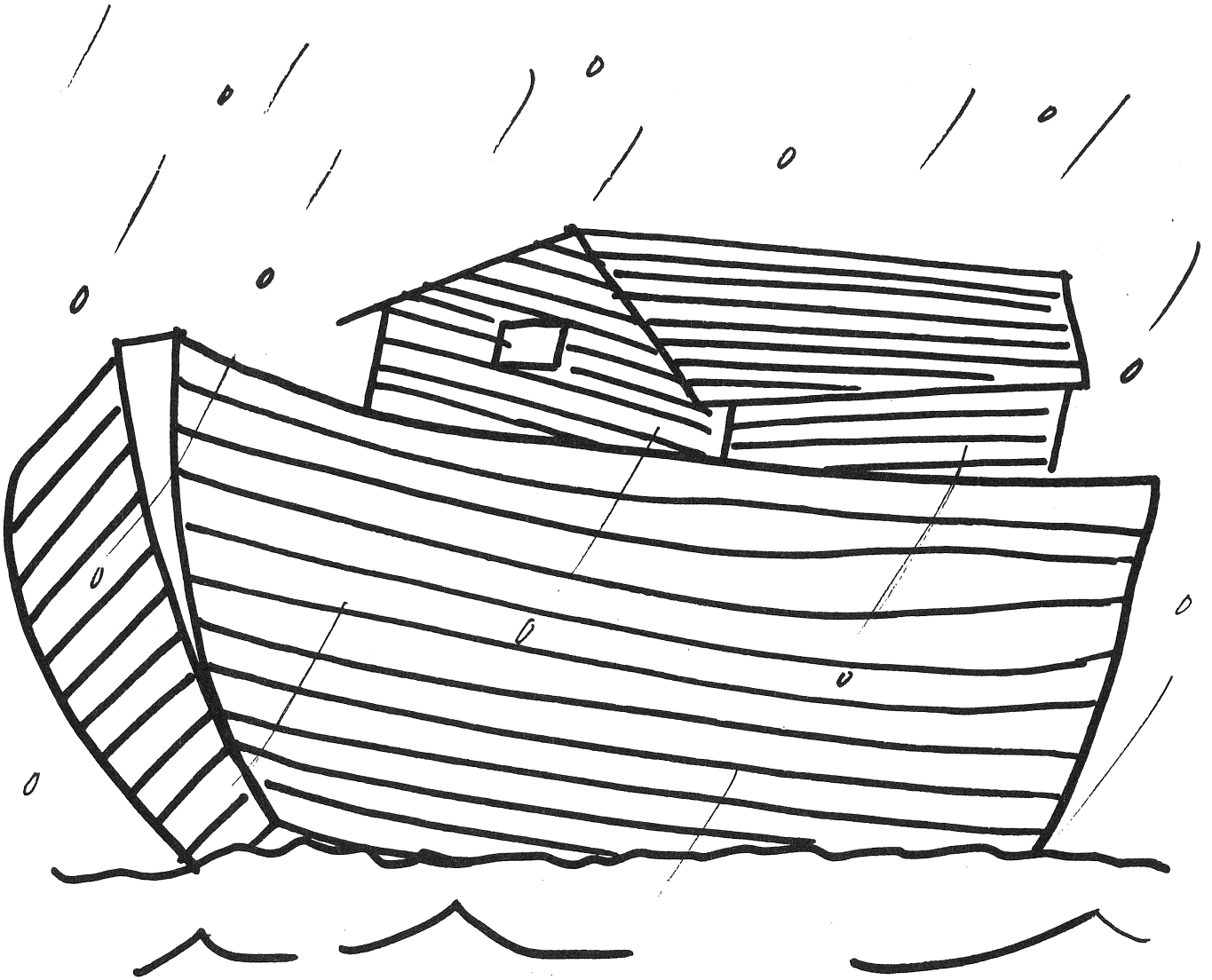
と



にあゆんだ。

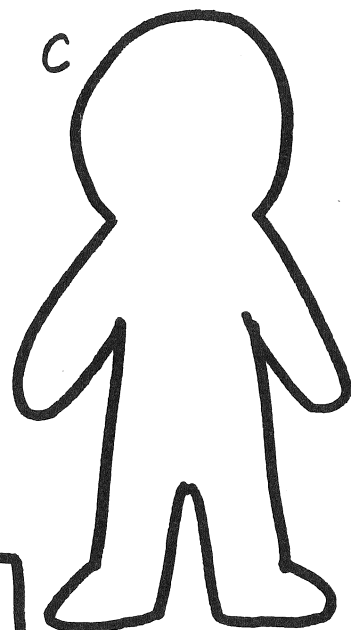
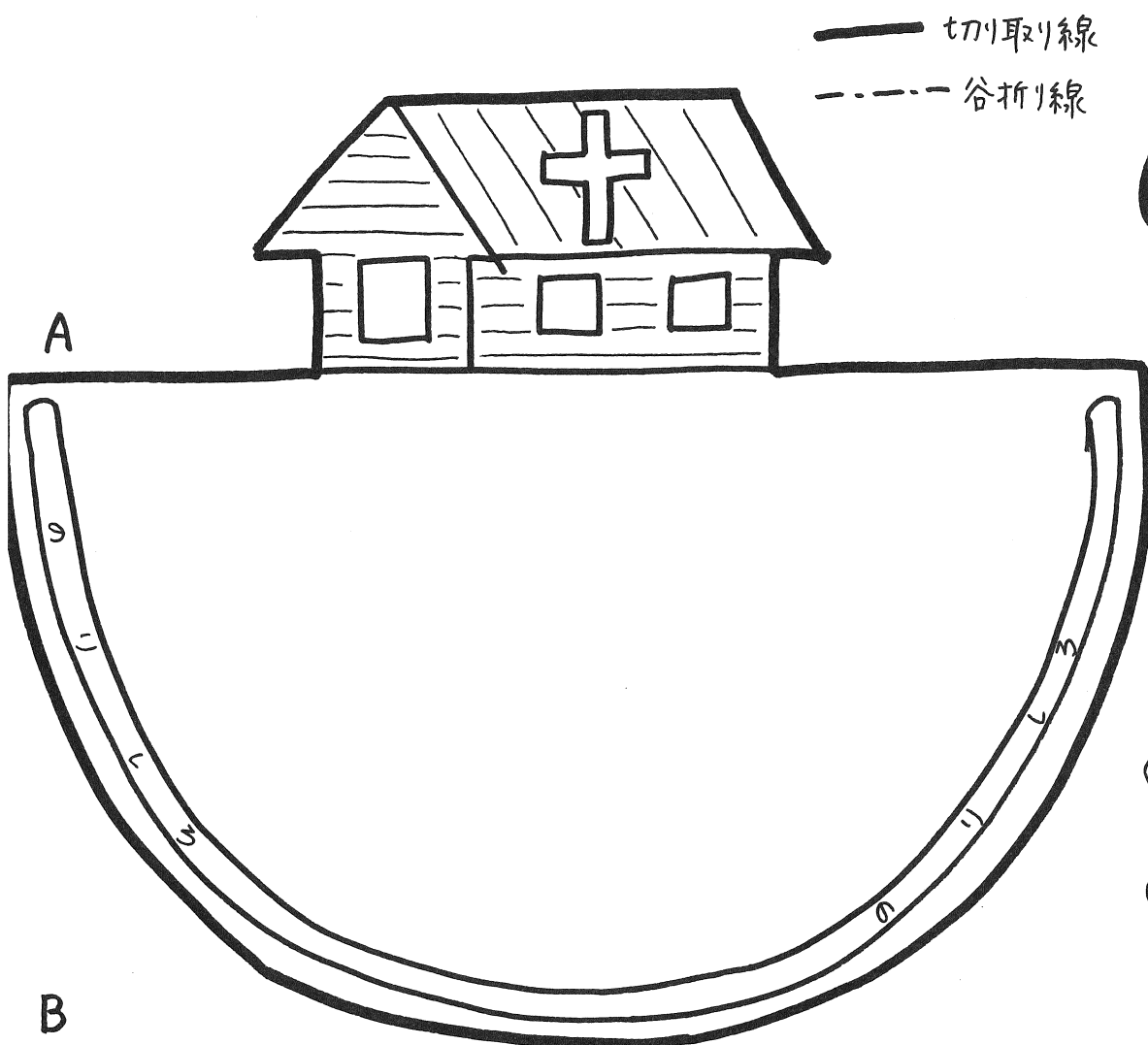
ノアはかみとともにあゆんだ。
そうせいき6・9

- ① ふねにいろをぬりましょう。
② したの ^ミまをふといせんできりとり、ふねにのるここのできた
ものをえらんでふねのうえにあきましょう。

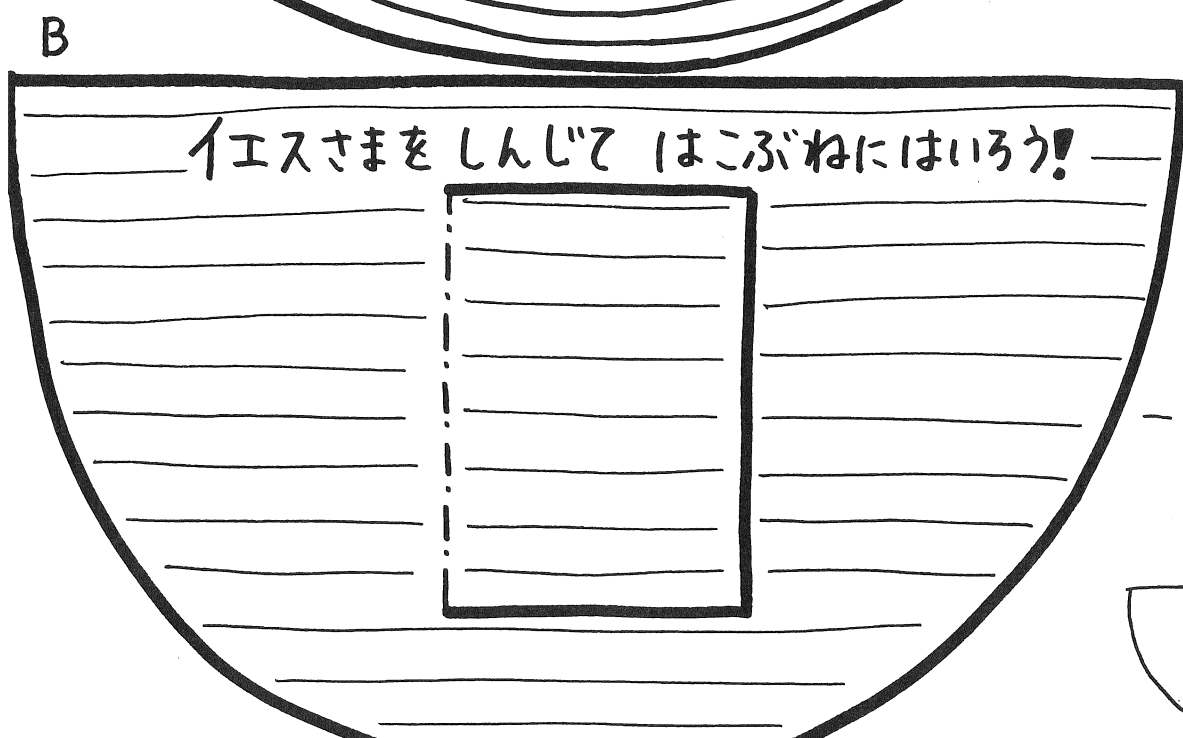


A 8 / 19 はこぶね

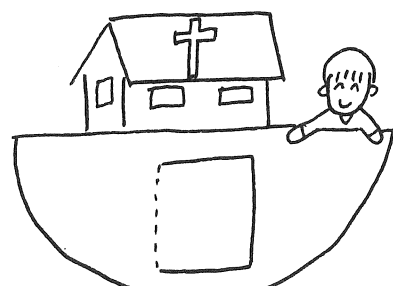
ノアはかみとともにあゆんだ。
そうせいき 6・9

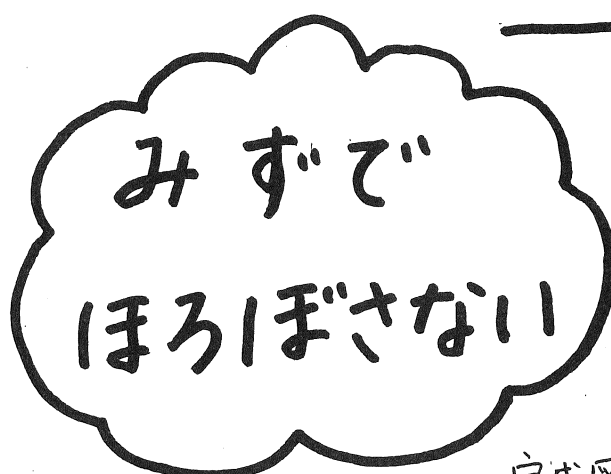
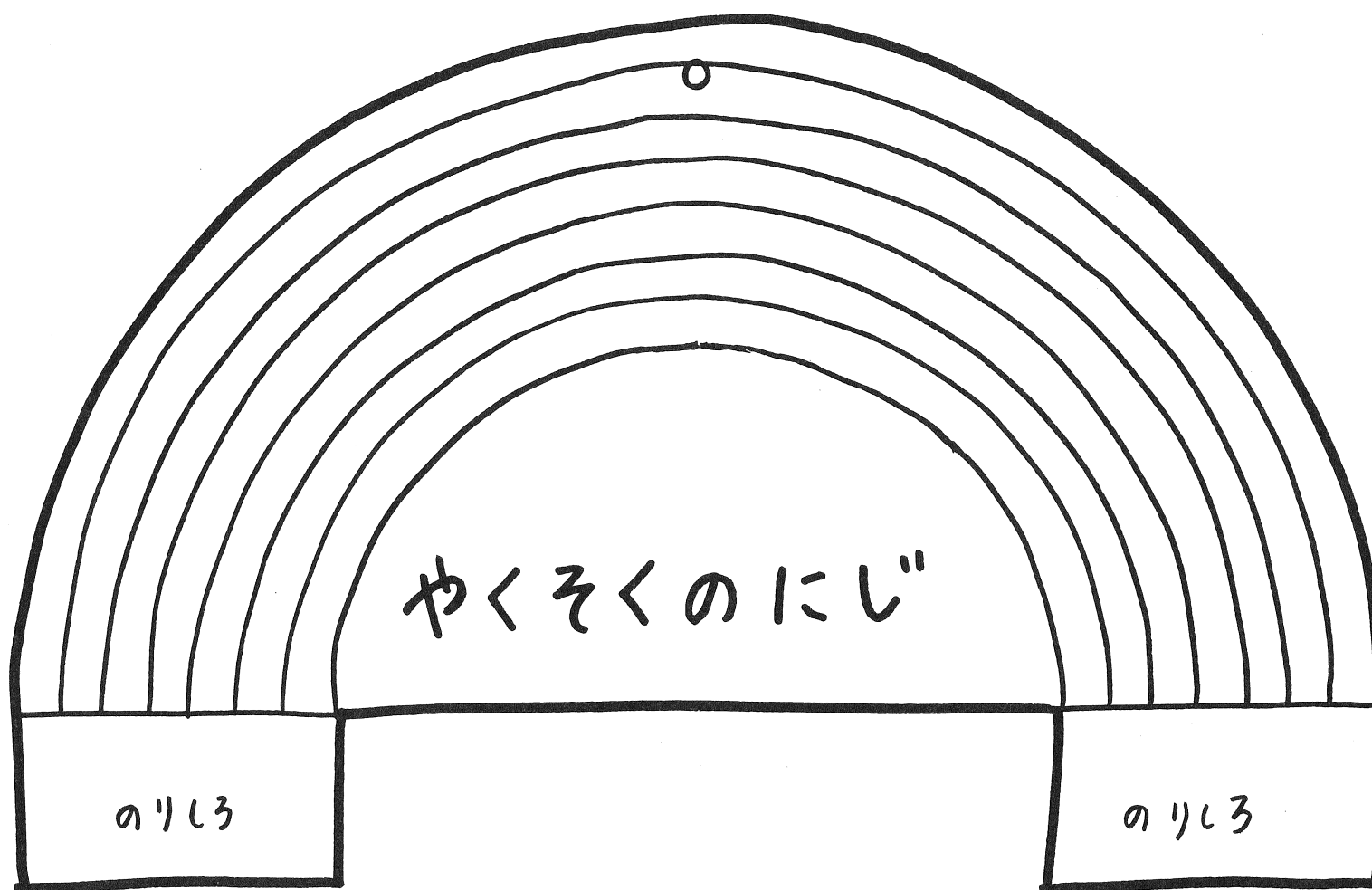


- ① Cに自分の顔や服を書き色をぬり切り取る。
- ② A・Bに色をぬり切り取る。
- ③ Bの扉の部分に切り込みを入れる。
- ④ Aののりしろ部にのりをつけBをはり合わせる。
- ⑤ Cを箱舟の扉から箱舟の中に入らせ上部から顔を出しセロテープなどでとめる。



— 完成図 —

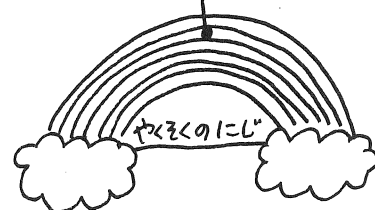




—— 切り取り線

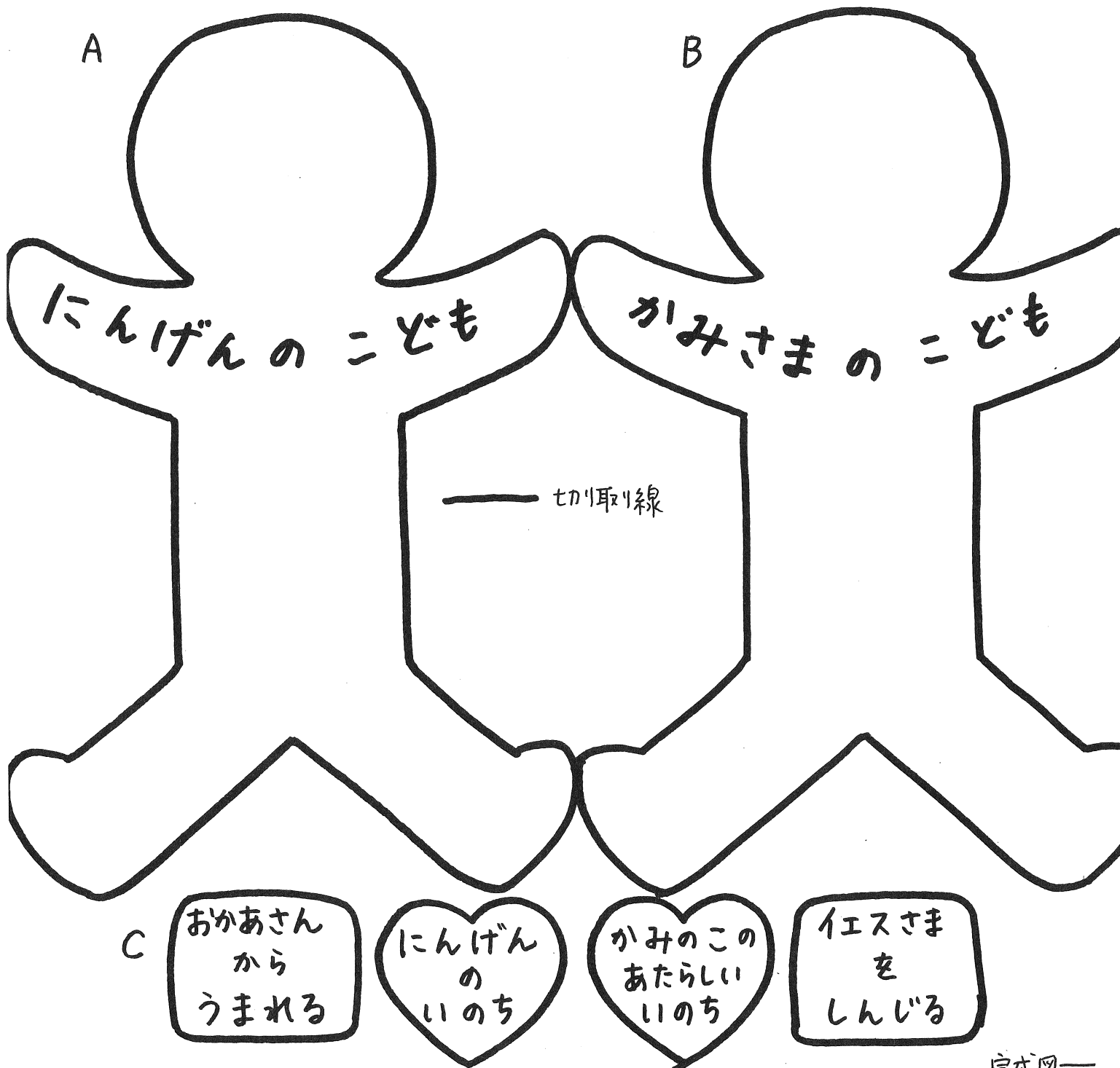
—— 完成図 ——

- ① にじを7色にぬり。(外側から赤・オレンジ・黄・緑・水色・青・紫)切り取る。
- ② くもを切り取り、にじの両端に1つずつはる。
- ③ にじの上部にひもをつけて吊り下げる。



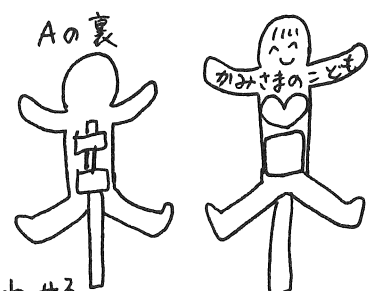
A 9/2 あたらしいいのち

わたしはよのひかりである。
ヨハネ 8・12



—完成図—

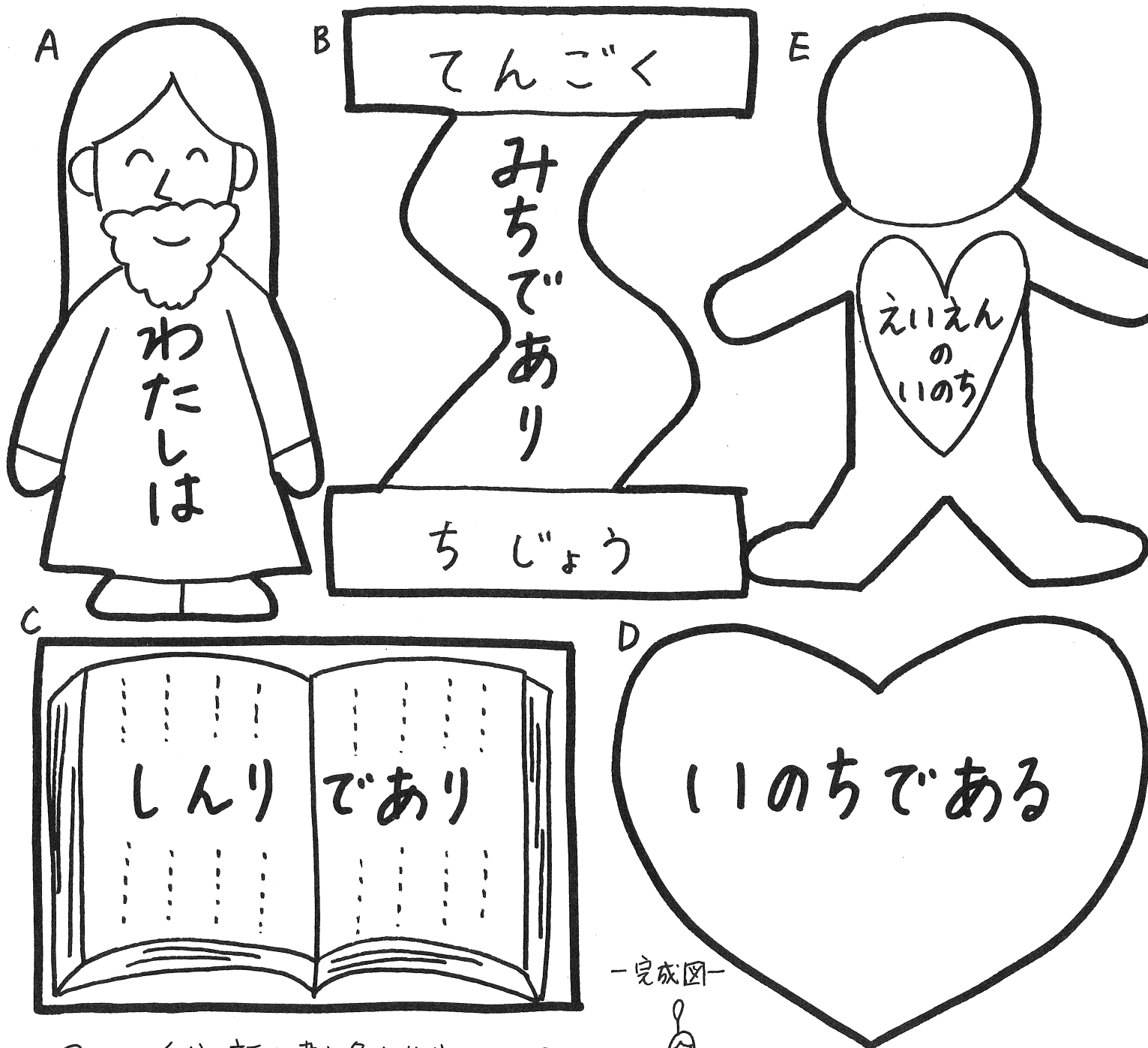
- ① A・Bに同じ顔を書き、色をぬり切り取る。
- ② Cに色をぬり切り取る。
- ③ 切り取ったCを、人間の子・神様の子にふさわしいものを選び、それぞれにはる。
- ④ 割りばしをAの裏にセロテープでとめ、AとBを外表にしていはり合わせる。



A 9/9 まことのいのち

わたしはよのひかりである。

ヨハネ 8・12



① Eに自分の顔を書き色をぬり、切り取る。

② A.B.C.Dも色をぬり切り取る。

③ 上から A→B→C→D→Eの順に並べ、

裏側に 約80cmのひもをセロテープでとめる。

(ひもの下端に小さな石をつけておもりにしてもよい)

—完成図—



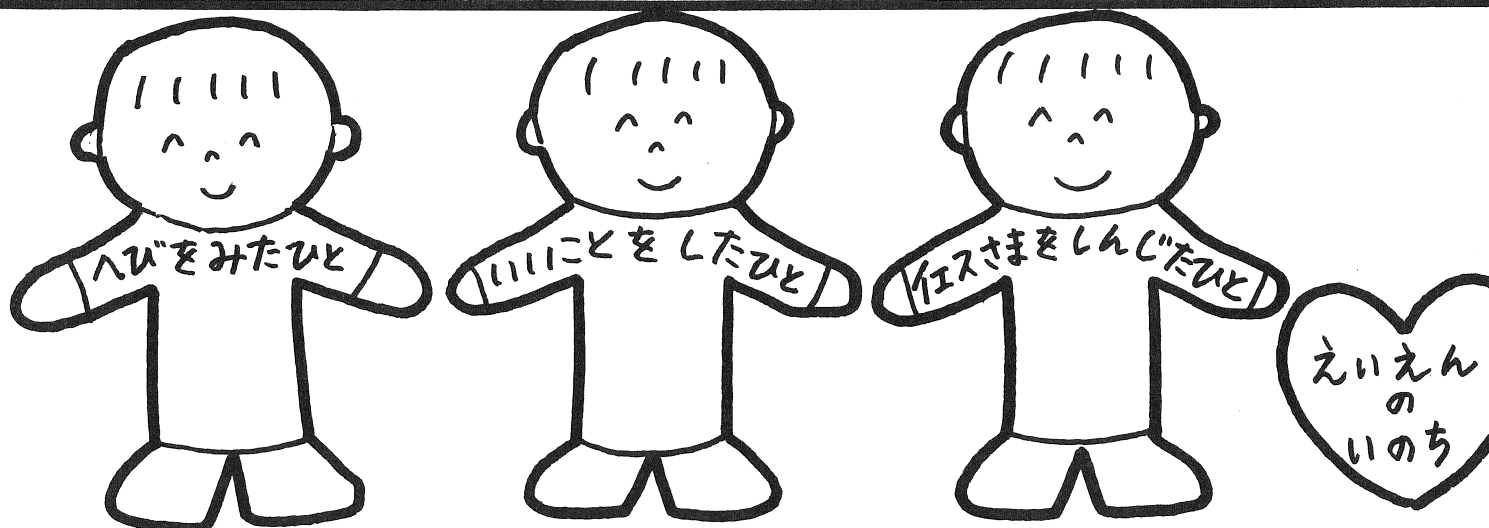
—— 切り取り線

A

9 / 16 えいえんのいのち

わたしはよのひかりである。

ヨハネ 8・12



① 天国に入ることができる人を選んで切り取る。

② 永遠の命♡を切り取り、選んだ人の胸のあたりに貼る。

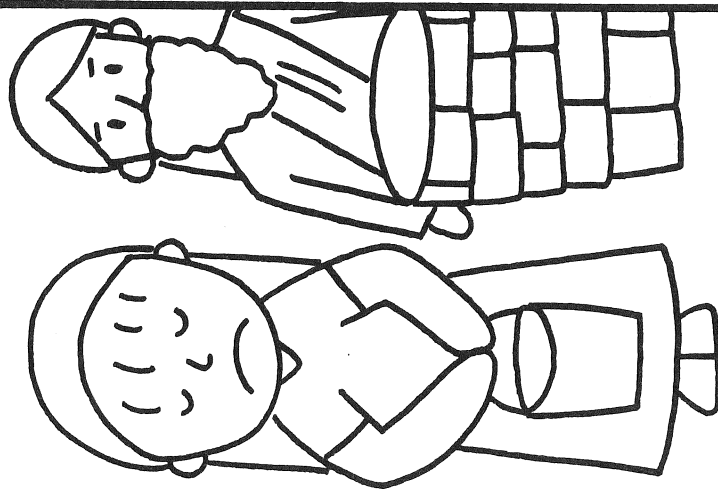
③ 選んだ人を天国の絵の中の好きな所にはる。

—— 切り取り線

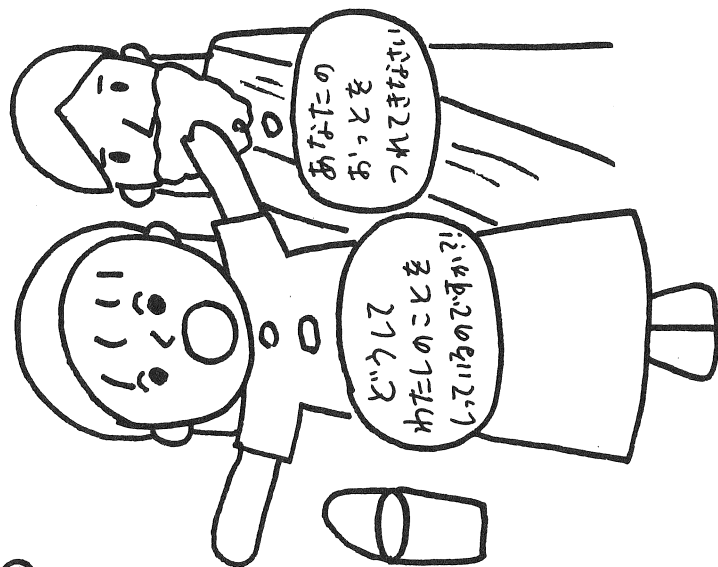
A 9/23 いのちのいずみ

わたしはよのひかりである。

ヨハネ 8・12



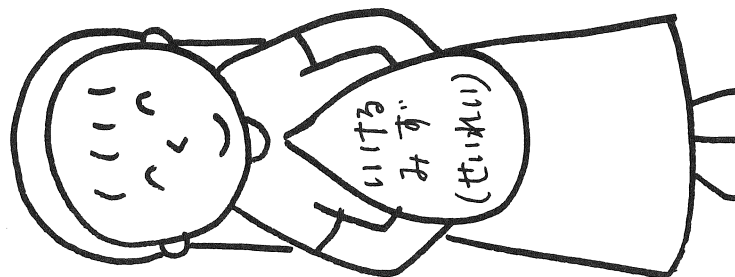
①



②



③



④



⑤

ミニミニ絵本を作ろう! ——— 切り取り線

① それぞれの絵に色をぬり、切り取り線で切りはなす。

②  それぞれを半分に折る(谷折り)

③ 絵①の半分より下の裏側にのりをつけ、②の半分より上の裏側をはり合わせる。

④ 絵②の半分より下の裏側にのりをつけ、③の半分より上の裏側をはり合わせる。

⑤ 最後まで同じようにはり合わせ、絵本を完成させる。



A

9 / 30 いのちのひかり

わたしはよのひかりである。

ヨハネ 8・12



- ① 黒の画用紙を用意し、型紙の大きさに切り取る。
- ② ろうそくの炎の部分を切りぬき、4cm×4cmの黄色のセロハンを裏からセロテープではる。
- ③ ろうそくと台を色紙から切り取り、炎の下部分にはる。
- ④ 今日のミコトゴを色紙に書き、切り取り、画用紙の好きな所にはる。

—— 切り取り線

2007年度 牧羊者 第Ⅱ巻

ワーク A 解説 7~9月

7/1

●話し方のヒント

私たちが生まれる前よりずっと昔、世界は真っ暗でした。しかし、神様だけは存在しておられました。神様が「光あれ」とおっしゃると光ができました。このように神様はお言葉と神様のご計画によって海や陸、花、木など自然界の全てをお造りになったのです。私たちの目で神様を見ることはできませんが、私たちの周りにある自然によって、神様を知ることができます。この自然を支配しておられる神様を信じましょう。

●ワークについて

神様は秩序正しく天地創造されたことを覚えましょう。

7/8

●話し方のヒント

神様は、人間が生活できる環境を整えて、最後に人間を創造されました。「われわれのかたちに、われわれにかたどって人を造ろう」と神様と同じ人格を持つ人間をお造りになったのです。そして「生めよ、ふえよ…」と人間に全てのものを治めるように言われました。神様の創造のみわざは人間だけ違います。それは神様にとって人間が特別な存在だからです。

●ワークについて

人間（わたし）を造られ、愛してくださる神様を覚えましょう。

7/15

●話し方のヒント

へびの巧みな言葉に誘惑され、神様との約束を守れなかったアダムとエバは、神様の呼びかけから身を隠しました。子どもが悪いことをして目をそらしたり、ごまかしたりする姿と似ています。神様は私たちのお父さんです。ですから返事がなくても私たちのことを探しておられます。私たちも約束を守れなかったり、悪いことをすることがあります。これが罪ですが、素直に「ごめんなさい」といえる子どもになりましょう。

●ワークについて

神様から離れ（隠れ）たことが、罪であることを学びましょう。

7/22

●話し方のヒント

アダムとエバは、裸であることが恥ずかしく隠れていました。神様の呼びかけに答えることができないばかりか、約束を破った理由を他者のせいにしたのです。このことを悲しんだ神様は、アダムには汗を流して働くことを、エバには苦しんで赤ちゃんを産み育てることを命じました。そして、神様は二人に動物を殺して皮の着物を与えたのです。ここに、神様の愛を感じます。この愛は私たちにも注がれています。イエス様の十字架を信じて、救いの道を歩きましょう。

●ワークについて

神様の救いの方法を、今日のお話を思い出しながら確認しましょう。

7/29

●話し方のヒント

創世記5章にはたくさんの人物の名前が出てきます。そして、その最後は「死んだ」と書かれていますが、エノクだけは「いなくなった」と書かれています。エノクは死ななかったのです。どうしてでしょうか。それは神様を無視して生きる人たちのいる中で、神様と共に歩んだからです。神様もエノクと共に歩んでくださいましたが、エノクも神様と共に歩みたいと願い、どんなときも神様が共にいてくださると信じ、信頼していたのです。私たちもエノクのようにになりたいですね。

●ワークについて

神様は、どんな時でも共におられることを確信できるように。

8/5

●話し方のヒント

ノアが生活していた時代は、悪いことをする人がたくさんいました。そんな人たちの中で、ノアはまことの神様を信じて生活をしていました。神様はこの状況を見て悲しみ、悪いことをする人たちや、この地上にあるすべてのものを滅ぼすことにしました。そしてこの計画をノアだけに話したのです。なぜ、ノアだけに話したのでしょうか。それは、ノアが神様に従う人だったからです。ノアは神様の命令どおりに舟を造りました。この姿を見た神様は、お喜びになりました。私たちも、神様に喜ばれる者となりましょう。

●ワークについて

神様に従ったノアを、み言葉を通して覚えましょう。

8/12

●話し方のヒント

最近、いろいろなところで地震が起こり、ニュースになっています。大きな地震だと逃げ遅れて亡くなった方もおられます。それはいつ起こるかかわからないからです。でもこの洪水が起こることは、神様が知らせてくださっていました。ですからノアの家族は一生懸命に舟を作り、神様の言われるとおりにしたのです。しかし、町の人々はノアたちをばかにしていました。やがて雨が降り出し、町中を水がおおいました。助かったのは神様を信じるノアの家族だけ。私たちは舟に入ることができるでしょうか。神様を信じて舟に入りましょう。

●ワークについて

神様の救いは、信じる者に与えられることを覚えましょう。

8/19

●話し方のヒント

雨がやみ、洪水の水が引いて、ノアの家族と動物たちは、全てのものが洗い流された新しい土地に立つことができました。それはノアの家族が神様の言葉に従って箱舟に入ったからです。神様は今、私たちに「あなたの罪のために十字架にかけられたイエス様を信じなさい」と言われます。私たちも神様の言葉に従ってイエス様を信じ、罪と滅びから救われて、天国に入れていただきましょう。

●ワークについて

イエス様を信じた人は救われることを伝えましょう。

8/26

●話し方のヒント

神様は、神様の言葉に従って救われたノアの家族を愛されました。そして、もう二度と洪水で人間を滅ぼすことはしないと約束し、約束のしるしに、空に虹をかけられました。ノアは虹がかかる度に、神様の愛と約束を思い出して喜んだことでしょうか。神様は私たちにも「あなたを愛しています。あなたを罪のために滅ぼすのではなく、救います」と約束してくださっています。そのしるしがイエス様の十字架です。私たちは、いつもイエス様の十字架を思って、神様の愛を喜びましょう。

●ワークについて

神様がノアに約束されたことを覚えましょう。

9/2

●話し方のヒント

皆さんは、教会学校で先生に「お手伝いしてね」と言われたら、喜んでできますか？「いやだな」と思ったり、「どうして私だけ？」と思ったりしないでしょうか。私たちの心の中には「罪」があって、神様のお手伝いをするのをいやだと思ったり、悪いことを考えたりしてしまいます。けれどもイエス様を信じるなら、私たちの「罪」が赦されて新しい神の子の命が与えられ、神様のために喜んで働く子どもに造りかえられます。

●ワークについて

イエス様を信じるなら、神の子の新しい命が与えられることを覚えましょう。

9/9

●話し方のヒント

イエス様は「道」です。私たちが天国に行くための道はなかったのに、イエス様が私たちの罪の身代わりに十字架にかかれて、「道」を作ってくださったからです。イエス様は「真理」です。神様であるイエス様は、決して間違ったり迷ったりすることのないお方だからです。イエス様は「命」です。イエス様が、イエス様を信じる人に、永遠の命を与えてくださるからです。このイエス様を信じて、神の子の命である永遠の命をいただいて、天国を目指して歩みましょう。

●ワークについて

絵を見ながら、み言葉を覚えましょう。

9/16

●話し方のヒント

とても立派なニコデモというおじいさんは、どうしたら「永遠の命（天国へ行ける命）」がもらえるのか、イエス様にたずねました。イエス様は「昔、蛇にかまれて死にそうになった人たちは、神様に教えられたとおりに、木にかけられた青銅の蛇を見て助かりました。あなたは、十字架（木です）にかけられる私を信じるなら、永遠の命が与えられます」と教えられました。私たちも、私たちの罪の身代わりに十字架にかけられたイエス様を信じて、永遠の命をいただきましょう。

●ワークについて

イエス様を信じた人だけが、永遠の命をいただいて天国に行けることを覚えましょう。

9/23

●話し方のヒント

たくさんの罪を持ったまま苦しんでいた女の人は、井戸の近くでイエス様に声をかけられ、イエス様に自分の罪を言い表し、イエス様を救い主と信じました。すると、罪が赦され、生ける水（聖霊）が与えられて、喜びがあふれるほどになりました。私たちも隠している罪があるなら、神様の前に罪を言い表し、私たちの罪の身代わりに十字架にかかれたイエス様を信じましょう。私たちの罪は赦されて、生ける水が与えられて、喜び一杯の心に変えられます。

●ワークについて

簡単な絵本を作り、絵を見ながら、今日聞いたお話を思い出しましょう。

9/30

●話し方のヒント

石を投げつけられて殺されなければいけないほどの重い罪を持っていた女の人は、心の中が真っ暗闇でした。多くの人たちは、女の人を囲んで、罪を責めましたが、イエス様は「私はあなたを罰しません」と言って、女の人を赦されました。イエス様の愛を知った女の人がイエス様を信じると、女の人の中の暗闇が、イエス様の光によって追い出され、明るい光の心に変えられました。「わたしは世の光である」と言われるイエス様を信じるなら、私たちの心の中の、どんな罪の暗闇も追い出されて、光の心に変えられます。

●ワークについて

イエス様は、光で私たちの心の暗闇を明るくしてくださることを覚えましょう。